

～内科通信～

2014年4月30日号

自治医科大学内科通信の読者のみなさんへ

こんにちは。

自治医大内科通信です！

新学期が始まりましたね！

いよいよ、今年度の配信を開始です！

今年度は月に2回程度配信してまいります！よろしく!!!

コンテンツとしては、

「オリジナル問題とその解説」

「科長による各診療科の紹介」

「自治医大で研修中のレジデントの声」

「研修プログラム、教育プログラムの紹介」

が基本になります。

皆様のご質問やご要望にも適宜お応えしたいと思います。



今年度から、内科通信担当が消化器内科の大沢氏から腎臓内科の秋元に変わりましたので、簡単にご挨拶したいと思います。

4月になって新入生、新レジデントを迎え、自治医大内科学講座の各部門は慌ただしく動き始めており、早くも仕事モードへと突入してしまいました。

自治医大内科の初期研修は早期からローテート方式を採用し、総合医療の実践とその教育にあたってきた歴史があります。高齢化社会になって全人的な医療はますます必要となっていており、内科学講座においても質の高い教育とともに視野の広い知識や技術の習得を目指し、日々研鑽している毎日です。

自治医大レジデントの特徴として、出身大学が北は北海道から南は沖縄まで多岐にわたっているという点があります。指導医の出身大学もまちまちで、それを意識することなくいろいろな考え方の人と接することができる本学での研修は、お互いに切磋琢磨しながらレベルを高め合ういい機会になることでしょう。私も本学での

研修医時代、色々なところからやってきた仲間や指導医からとても多くの刺激を受け、現在に至っています。本学に興味のある医学生の方、熱烈大歓迎です！ぜひ一度見学に来てくださいね！！



それでは今回のオリジナル問題を提示します。今回の担当は血液科と腎臓内科です。まずは血液科からです。

問題 1

56 歳男性。2 週間前から出現し、増悪する動悸、息切れを主訴に受診した。血液検査にて WBC 6000 / μ l, Hb 5.9 g/dl, MCV 120 fl, Plt 15.4×10^4 / μ l, T. Bil 3.5 mg/dl, D.Bil 0.4 mg/dl, LDH 465 IU/l, 網赤血球 5.5 %であった。上部、下部消化管内視鏡検査では出血を伴う病変は認められなかった。

まず行うべき検査、治療として適切なものはどれか。3つ選べ。

- a. 薬剤服用歴の聴取
- b. 鉄剤の投与
- c. 血中ビタミン B12 の測定
- d. 血中ハプトグロビン値の測定
- e. 赤血球輸血

難易度：**

出題者：山本千裕先生

実践的な問題ですね。臨床実習を体験していれば比較的簡単かもしれませんね。

続いては腎臓内科から問題です。

問題 2

血液透析用バスキュラーアクセス (VA) に関して正しいはどれか？ 2つ選べ。

- 1. 推算糸球体濾過量 (eGFR) が $10\text{ml}/\text{min}/1.73\text{m}^2$ を示した時点で作成を考慮する。
- 2. 人工血管使用皮下動静脈瘻 (AVG) の術後 1 年目の開存率はおよそ 80% である。
- 3. 左室駆出分画が 30% 以下の場合、動静脈シャント以外の VA 作製を考慮する。
- 4. 非カフ型 (短期留置型) カテーテルは、最長 3 カ月を限度に交換を行う。

5. スチール症候群を呈する症例は、動脈表在化の適応となる。

6. 難易度：＊

出題者：武田真一先生

私にとってはあまり難しくはありませんが（当たり前か！）、みなさんにとってはいかがでしょうか？



レジデントの声の紹介です。最初は腎臓内科からです。

私は、1年目の第1クールに腎臓内科で研修させて頂きました。研修医として始まったばかりであり、仕事に慣れない部分もありましたが、先生方はとても優しく教育熱心で電子カルテの使用のような初歩的な部分から問診診察のポイントなどまで幅広く教えて頂いています。症例としましては、腎不全など腎疾患や血液透析は勿論のこと、学生時代にはあまり馴染みのなかった腹膜透析についても学ぶ機会を持つことができます。日々充実した研修を行えるので腎臓内科のローテートを考えている方は是非とも回って頂ければ満足 of いく研修ができると思います。

J1 加藤 陽平（自治医科大学）

医師として働き始めることに、希望を持ちつつも不安をかかえてのスタートでしたが、優しく熱心な先生方に囲まれて、楽しんで仕事をさせてもらっています。今はまだ日々の仕事をこなすだけで、精一杯ですが、早く仕事に慣れて先生方から少しでも多くの知識・技術を吸収したいと思っています。

J1 白井 達也



2014年度第1号内科通信はいかがでしたか。問題は難しかったですか？

不慣れなためご迷惑をお掛けしたかもしれません。文字が見えにくいなどの問題がありましたら、ぜひご連絡ください。次回は5月中旬です。それでは、みなさん、ごきげんよう、さようなら。

連絡先：

〒329-0498

栃木県下野市薬師寺 自治医科大学

腎臓内科 秋元哲（あきもとてつ）

E-mail: 13naikatsu@jichi.ac.jp